

令和6年3月定例会

一般質問要旨

(令和6年3月4日・5日)

(質問順序)

1	明石	宏康	君	(真政会)
2	日景	賢悟	君	(真政会)
3	伊藤	深雪	君	(公明党)
4	相馬	エミ子	君	(市民の風)
5	工藤	賢一	君	(市民の風)
6	吉田	勇一郎	君	(令和会)
7	田村	儀光	君	(真政会)
8	秋元	貞一	君	(令和会)
9	岩本	裕司	君	(市民の風)
10	花田	強	君	(市民の風)
11	今泉	まき子	君	(日本共産党)
12	柳館	晃	君	(真政会)
13	吉原	正	君	(市民の風)
14	石田	健佑	君	(無所属)

大館市議会

○ 明 石 宏 康 君 (真 政 会)

1. ふるさと納税について

- ・ 急な大量の受注にも対応でき得る体制整備が課題であるが市の考えは

2. ジビエ振興策について

- ・ 加工・処理施設の整備に係る議論を始めるべき

3. m o b i について

- ・ 申込み方の分からない人が相当数いる。潜在需要を掘り起こすためにも今以上の丁寧なPR活動を願う

○ 日 景 賢 悟 君 (真 政 会)

1. 地域商社の設立を望む

- (1) 官民協働の時代、地域課題解決の実行組織として市が50%出資する民間会社、地域商社の設立を望む
- (2) 地域商社の設立によって行政の仕事をスリム化し、本来行政が担うべきまちづくり事業に集中できるはず
- (3) 地域商社が担う役割は多岐に及び、経済効果は大きい
- (4) 既存施設の収益改善や、観光事業の拡大につなげることができると確信する

2. 大館市におけるライドシェアの運用可能性について

- ・ 昨今、国が急速に議論を進めているライドシェア。未来の公共交通の救世主として期待されているが、大館市における現在の運用可能性と、今後の課題について問う

○ 伊 藤 深 雪 君 (公 明 党)

1. 市民のモラル・マナー向上にポイント付与を

- ・ 地域活動やボランティア活動の参加にポイントを付与することで、コミュニティの活性化を図り、モラル・マナー向上につなげていくべき

2. 子どもの医療費の助成拡充を

- ・ 助成対象となる子どもが3人以上いる世帯の医療費を無償化にするべき

3. 特定健診率向上のため健診センターの設置を

- ・ 人間ドック・健診事業を強化する健診センターを設置し、特定健診率の向上を図るべき

○ 相 馬 エミ子 君 （市 民 の 風）

1. 市立病院の眼科の手術対応について

- (1) 患者の手術はいつ頃から始めるのか
- (2) 大学病院の医局との話合いの結果について
- (3) 市民は困っている。一日も早い医師確保に努めてほしい

2. 地域防災計画について

- (1) 地震が発生した場合の備蓄は万全か
- (2) 福祉避難所の開設について
- (3) 本市の地域防災計画の見直しについて

3. 空き家対策で移住・定住の促進を

- (1) パブリックコメントの結果について
- (2) 空き家の利活用促進について

4. 人口減少問題と対策について

- (1) 若者を大都市へ流出させない定着への取組について
- (2) 本市の人口減少と対策について

○ 工 藤 賢 一 君 （市民の風）

1. 大規模自然災害が発生してもみんなが助かるインクルーシブ防災の取組を進めるべき

- (1) 能登半島地震においては、半島特有の地形の影響もあり、道路やライフライン寸断により救助や支援が困難となる事例が多く発生した。中山間地域の防災においても共通する課題があるものと考えているが、地域防災計画見直しの考えはないか、市長の考えを伺う
- (2) 大規模地震災害発生時、要配慮者と呼ばれる高齢者及び障害者の死亡率、災害関連死の発生率が高いことが明らかになっている。災害が発生してもみんなが助かるインクルーシブ防災の取組を進めるべき

2. 将来の介護サービス供給体制の調査分析の進め方について

- ・ 将来的な介護サービス需要増と人材不足が想定される中で、中学校単位で展開する分散型「小さな拠点」整備を慢性期・介護のあるべき姿として想定しているが、調査分析における医療・介護・福祉専門職からの意見取りまとめの状況について伺う

○ 吉 田 勇一郎 君 (令 和 会)

1. 町内会連携の主管課とデジタル活用支援について

- (1) 行政が町内会と連携するための主管課を設けたらどうか
- (2) デジタル推進委員と連携し、町内会役員のデジタル活用を支援する事業を行って
はどうか

2. 移住者数の把握方法について

- ・ 移住者の全体数を把握できる計測方法に変更してはどうか

3. 屋外スポーツ施設の早期開場について

- ・ 積雪状況に応じて早期開場できるように運用を変更できないか

○ 田 村 儀 光 君 （真 政 会）

1. 新年度予算について

(1) 予算編成について

(2) 市民から「黄金の秋田犬は高い。もっと別の使い道に予算を使うべき」という声がある。市長の考えは

(3) 新たな道の駅整備を推進するため、関連予算を早期に予算化すべきと考えるが、市長の考えは

(4) 除雪の契約方式を青森市などで採用しているシーズン契約を導入してはどうか

2. 町内会と市との連携について

(1) 町内会に関する相談窓口を一本化するため、担当課の設置が必要と考えるが、市長の考えは

(2) 市内全域の町内会長の連携団体を市役所内に設置してはどうか

(3) 行政協力員制度・行政区を見直しすべきと考えるが、市長の考えは

3. 包括的民間委託について

- ・ 今年度の取組結果と来年度からの取組予定について

○ 秋 元 貞 一 君 （令 和 会）

1. 生活公共交通網空白地域における共助型交通の可能性について

- ・ 市民の移動体制の充実を図るために公共交通網形成の見直しが計画されているが、公共交通補完型の共助型交通を検討してはどうか

2. 集落支援員の導入について

- ・ 地域を元気にするために、町内会と行政の連携を深めるための集落支援員の導入を強く望む

○ 岩 本 裕 司 君 （市民の風）

1. 市職員の働き方改革について

- (1) メンタル不調に対して毎月相談を行っているとのことだが、その相談件数及び相談内容はどのようなものか
- (2) 職員不足からくる業務量の多さが心の病につながっているのではないか
- (3) 職員を確保し余裕のある職場づくりを進めるためにも、職員不足を解消すべき

2. 一般廃棄物焼却場（クリーンセンター）の今後について

- (1) 延命措置で40～50年使用するのか、新施設を建設するのか
- (2) 国・県のガイドラインに沿った広域化を目指すのか、単独事業として進めるのか
- (3) 広域化または単独事業であっても、搬入に危険性の少ない施設環境をつくり、環境に優しい施設とするべき

○ 花 田 強 君 （市 民 の 風）

1. 鉄路の赤字路線解消に向けた対策について

- ・ J R東日本では赤字路線解消に向けた沿線市町村との話し合いを必要としている。
路線存続に要する市の負担をどのように考えるか

2. 市の広報媒体としてのテレビ回覧板の活用について

- ・ 毎月発行されている広報おおだてのほかに、広く視聴されている民放のテレビ回覧板を活用すべきと考えるが、市長の考えは

○ 今 泉 まき子 君 （日本共産党）

1. 能登半島地震の教訓を、大館市の地域防災計画にも反映させることについて

- (1) 暑さ、寒さ対策
- (2) 女性のプライバシー保護
- (3) 避難所での感染症発生時の対応
- (4) 避難所での乳幼児や高齢者への対応
- (5) 指定避難所以外での自主避難者の状況把握の手段

2. 市民の要望に応じて学校給食費を無償化することについて

- ・ 2度にわたって市民団体からの陳情が提出されているが、市長の考えは

3. 4月からの介護保険制度の介護報酬改定について、介護職員の抜本的な待遇改善を図るよう、市長として国へ働きかけることについて

- (1) 訪問介護の報酬が下げられようとしているが、市長の考えは
- (2) 市の想定では、今後、介護職員の人員不足が見込まれるが、市長の考えは

○ 柳 館 晃 君 (真 政 会)

1. 空家等対策計画について

- ・ 増え続ける空き家等の対策について、5年後、10年後を見据えどのような施策を講じていくのか

2. 町内会活動の今後の在り方について

- ・ 担い手不足により将来、解散せざるを得ない町内会の増加が懸念されるが、市長の考えは

3. 県道22号のバイパス化の進捗状況について

- ・ バイパス化について動きはあるのか。期成同盟会設立等の予定はあるのか

4. 市当局と市議会の関係について

- ・ 特別職報酬等審議会において、市の政策を市当局と市議会が協力した結果、全国のみならず世界にも広がりを見せていると高評価を得たが、市長の考えは

○ 吉 原 正 君 （市 民 の 風）

1. 福原市政9年間の総括

- (1) 9年間の市政運営で力を入れた政策とその評価は
- (2) やり残したこと、できなかったことで心残りはあるか
- (3) 任期途中で辞める心境、また、国政に挑戦するに当たり市長としての経験をどう生かすのか、目指す国会議員像を伺う

2. 病院事業経営強化プランについて

- (1) 扇田病院について、病床を持ちながらの存続が提案されている。市民から評価する声が届いているが、この方針に対する市長の見解を求める
- (2) 病院事業管理者は、扇田病院の方向性について、あらゆる選択肢を考慮すると発言してきた。コンサルの内容は公表されていないが、報告内容が反映されていると考えてよいか
- (3) 令和9年度までの強化プランであるが、その後の方針は
- (4) 病院事業管理者は、両病院の経営改善に努力して、実りある実績を達成できるようその手腕に期待する。管理者の決意のほどを伺う

3. 温暖化による農産物生産の対策について

- (1) 米、重点戦略作物の昨年の減収要因を分析しながら、本年の高温、水不足懸念への対応策を求める。また、研究機関、栽培現場からの最新の高温対策情報を収集して発信すべきではないか

- (2) とんぶり生産の危機回避に支援を。秋田県で初めてのG I、地理的表示保護制度に登録され、大館ブランドとして注目されるとんぶりであるが、去年は記録的な大減収。海外を含めて大きな需要がありながら、生産が追いついていない。新規の生産者の確保、高温化に対応する品種開発など、栽培農家と協議しながら効果的な対応策の検討を求める

4. 公共施設の廃止について

- ・ 年度末で廃止される予定の公共施設については、それぞれ地域住民に長い間愛され、地域コミュニティを育んできた歴史がある。廃止に当たり、関係団体等との合意がしっかりとなされているのか。また、廃止に関連して要望などがあった場合、その対応について伺う

5. 来年度当初予算計上の「黄金の秋田犬」について

- ・ 来年度当初予算に計上されている「黄金の秋田犬、純金の秋田犬」の購入費1,650万円について、市民から疑問の声が寄せられた。計上に至った経緯と必要とした判断について伺う

○ 石 田 健 佑 君 （無 所 属）

1. 病院事業の方針について

- (1) 訪問看護ステーション等の政策医療サービスの提供エリアはどこまでを想定しているか
- (2) 二次医療圏の再編に伴い、圏内の他自治体にも利用に応じて負担金の協力を要請するべきではないか

2. 厚生労働省が発表した訪問系介護報酬引下げの影響と人手不足問題について

- (1) 訪問介護事業者撤退に伴う孤立防止のため、事業者への支援、または訪問介護サービス利用者の入所系施設への転換促進を早期に進めるべきではないか
- (2) 人手不足対策として医療・介護・福祉のPRやブランディング、採用等を支援する考えはあるか

